

10年の時を経て…

さくら公園でタイムカプセルを開封

4月4日、氷上さくら公園で10年前に埋められたタイムカプセルが掘り出されました。カプセルには、平成12年当時、中央・東小学校と宝塚市や豊岡市の小学6年生だった児童らが、未来の自分や大切な人に宛てたメッセージが保管されており、参加者らは10年前の自分との再会を懐かしんでいました。

Contents もくじ

特集 平成22年度の予算 2～6
こちら市長執務室～予算が成立～ 7
とびっくす ドクターヘリ訓練 ほか 8～9
市政ニュース 各種委員募集 ほか 10～11
教育たんば ウォッチング子育て ほか 12～14
丹波市職員配置図 15～18

相談・ねんきん 19
イベント情報 ウェスタンリーグ公式戦ほか 20～21
健康生活～妊婦健診助成額が変わります～ 22～23
情報ひろば 駅周辺駐車場料金を助成ほか 26～31
あなたに使ってほしいちーたんがあります 32

平成22年度

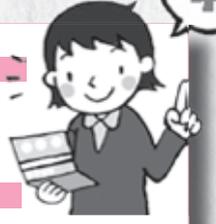
今年の予算

平成22年度予算をお知らせします

当初予算合計

559億9,103万円 前年度対比 Δ 3.0%

一般会計 335億円 (前年度対比 Δ 3.5%)
 特別会計 181億10万円 (前年度対比 Δ 3.5%)
 公営企業会計 43億9,093万円 (前年度対比+ 3.1%)

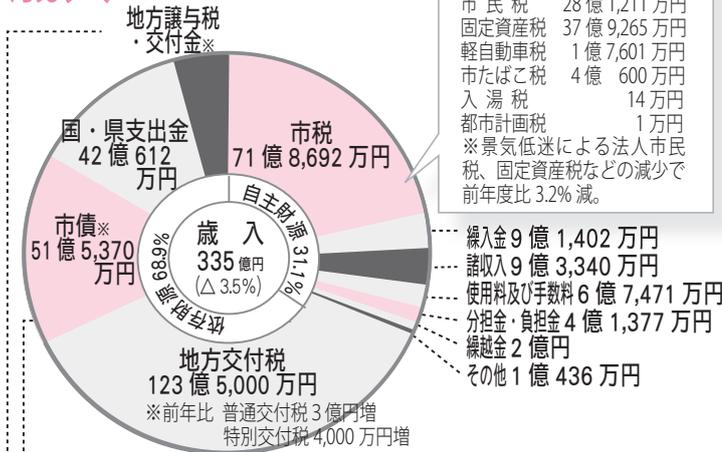


特集
まちのお金の使い方

① 一般会計 335億円

前年度対比 Δ 3.5%
福祉や教育、道路整備などにかかる基本的な会計です。

歳入



[市税内訳]

市民税 28億1,211万円
 固定資産税 37億9,265万円
 軽自動車税 1億7,601万円
 市たばこ税 4億600万円
 入湯税 14万円
 都市計画税 1万円
 ※景気低迷による法人市民税、固定資産税などの減少で前年度比3.2%減。

繰入金 9億1,402万円
 諸収入 9億3,340万円
 使用料及び手数料 6億7,471万円
 分担金・負担金 4億1,377万円
 繰越金 2億円
 その他 1億436万円

※ [地方譲与税・交付金] 13億6,300万円

地方譲与税、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、利子割交付金・配当割交付金・株式等譲渡所得割交付金・ゴルフ場利用税交付金・地方特例交付金・交通安全対策特別交付金

※ [市債]

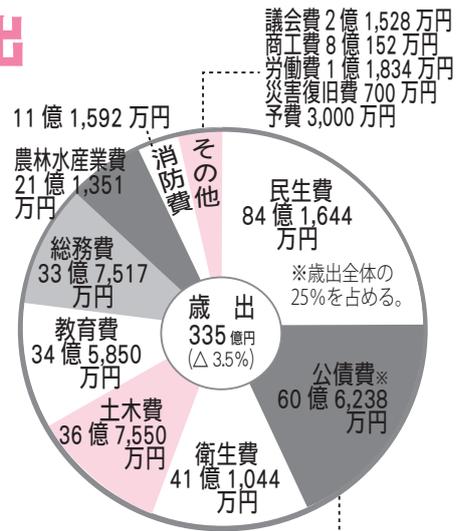
道路整備や学校建設など、一度に多くのお金がかかる事業は、その年の収入だけでは賄いきれないので、国や銀行からお金を借りて実施します。このお金を市債といいます。今年度の主な事業として、一般廃棄物処理施設建設事業、水道施設統合整備事業、幼保一元化施設統合整備事業、防災基盤整備事業、広域道路ネットワーク事業などがあります。



※ [公債費]

市債（借金）の元金と利子の返済に要するお金。平成22年度は市債の通常返済に加え、後年度の返済額の急増を抑えるための繰上償還に10億円を計上しています。長期債元金53億3,181万円・長期債利子7億3,053万円など

歳出



※歳出全体の25%を占める。

「一般会計歳出

歳出は、前年度対比で3.5%の減少となっています。総務費は、石生駅西側周辺整備事業や地域イントラネット管理事業などの減額により、前年度対比7.5%の減少。民生費は、子ども手当支給事業などの増額により、前年度対比5.0%の増加。衛生費は、一般廃棄物処理施設建設事業などの減額により、前年度対比9.8%の減少。労働費は、雇用維持安定支援事業や重点分野雇用創造事業の新設により、前年度対比125.6%の増加。農林水産業費は、新山村振興等農林漁業特別対策事業や県民緑税活用事業などの減額により、前年度対比1.0%の減少。商工費は、休養施設やすら樹と薬草薬樹公園が指定管理者制度に移行し事業費などで大きく減額しているものの、企業誘致推進事業が大きく増額したため、前年度対比の大きな変動はありません。土木費は、国庫交付金等道路整備事業や新規のプロジェクト関連事業などの増額により、前年度対比6.9%の増加。消防費は、救急救助活動事業や非常備消防施設整備事業

「元気・安心・再生」のまちづくり

平成22年度は、一般廃棄物処理施設建設事業や水道施設統合整備事業、幼保一元化事業など大規模事業に継続して取り組みます。

当初予算は、一般会計が335億円となり、前年度対比3.5%の減少、また、特別会計と企業会計を加えた全会計では、559億9103万円で、前年度対比3.0%の減少となりました。これらの予算を基に、平成22年度は「丹波市総合計画」の6つの基本方針に基づき、市の方向性や基本計画に沿った事業を推進し、「元気・安心・再生」を重要テーマに掲げ事業を実施します。



② 特別会計

特定の事業を行うために一般会計と区別して処理する会計です。

(単位：万円)

会計別	主な使い道	予算額	増減率
国民健康保険特別会計事業勘定	国民健康保険加入者を対象とした医療給付	743,000	5.4
国民健康保険特別会計直診勘定	青垣診療所の運営	23,770	1.8
介護保険特別会計保険事業勘定	65歳以上で要介護認定を受けた対象者への介護給付	527,700	4.5
介護保険特別会計サービス事業勘定	地域包括支援センターの運営	4,790	△77.7
老人保健特別会計	75歳以上の方を対象とした医療給付	670	△88.0
後期高齢者医療特別会計	75歳以上の方を対象とした医療給付	72,100	△5.6
訪問看護ステーション特別会計	在宅介護支援サービスの提供	2,570	2.4
下水道特別会計	公共下水道や農業集落排水施設の維持管理・建設など	410,000	△13.8
地方卸売市場特別会計	卸売市場の改修工事など	340	0.0
駐車場特別会計	月極・一時駐車場施設の管理	1,400	△72.0
農業共済特別会計(収益的収支)	農業共済金、無事戻金の支払いなど	23,670	△7.9
総合計		1,810,010	△3.5

注) 簡易水道事業特別会計は、平成22年3月31日で廃止されました。

③ 企業会計

地方公営企業法の適用を受ける公営企業の会計です。

(単位：万円)

会計名	主な使い道	予算額	増減率
水道事業会計(収益的収支)	浄水施設などの維持管理・水道施設	156,800	14.2
水道事業会計(資本的収支)	設整備など	282,293	△2.2
企業会計合計		439,093	3.1

注) 水道事業会計(資本的収支)の予算額は、収入と支出を比較し、多い方で表示しています。

【用語解説】
 ＊地方交付税
 市が一定水準の事務を行うことができるよう、自治体間の税収の差を調整するため国から交付されるお金。使い道は、市の自主性に任されている。
 ＊国庫支出金及び県支出金
 国や県から交付されるお金。特定の事業などに対して交付されるので、使い道が限定されている。
 ＊繰入金
 特別会計など一般会計以外の会計から繰り入れるお金や、積み立てた貯金(基金)を取り崩したお金など。

歳入全体に占める自主財源の割合が高いほど、自主性・安定性があるとされています。

自主財源

市独自の収入 104億2,718万円

依存財源

国や県からの補助など 230億7,282万円



課題!

「自主財源」の比率は31.1%で、中長期的にも市税を中心とした自主財源を増やし、財政基盤を強化することが必要です。

＊「自主財源」は減額を見込んでいます



市税のうち個人や法人市民税は、景気の低迷や企業収益の減少の影響による減額を見込んでいます。

業などの減額により、前年度対比13・0%の減少。教育費は、小・中学校・幼稚園施設整備事業などの減額により、前年度対比23・8%の減少。公債費では、繰上償還の実施および前年度市債借入額の増加に伴い、前年度対比15%の増加となっています。

観光振興事業

観光振興課を新設し、観光協会と連携して様々なイベントや仕掛けを行い、丹波市を広くPRします。

新規 団体旅行者に対しバスの借り上げ料の一部を補助するなど、誘客を促進します(200万円)。また、京阪神から誘客する市内周遊バスツアーを実施します(270万円)。

担当：観光振興課

☎ 74 - 1149

予算総額：7,550万円
(市負担)

今年は
「観光パブリシティ」で

丹波市を売り込みます！ラジオやテレビの番組内に観光情報を発信する時間枠を買い取り、広範囲の視聴者にPR！
[ラジオ関西] 毎月第4木曜日 午前8時9分～(20分間)
[サンテレビ] 7月～9月の毎週月曜日 午後6時～(30分間・延べ13回)

丹波竜を活用した事業

新規 恐竜化石工房をリニューアルし、山南支所1階に移転・拡充します(11月末完成。12月初旬オープン予定。9,000万円)。発掘4周年を兼ねてリニューアル記念イベントを実施(子どもユメフォーラム、プレ国際フォーラムなど200万円)。その他、丹波竜の里駐車場舗装工事、誘導看板整備、恐竜・ほ乳類化石を活かしたまちづくりなど。

担当：恐竜を活かしたまちづくり課 ☎ 82 - 3869

予算総額：1,285万円 市負担：1,216万円
(繰越明許：1億3,600万円)



平成22年度の 主な事業



総合計画の後期基本計画で重要施策と位置付ける「公共交通システムの準備」や定住・交流人口の増加を狙った「企業誘致」「観光振興」に重点を置いたまちづくりを進めます。

企業誘致

新規 丹波市企業誘致促進基金に1億5,000万円を積立雇用問題や若者の定住に重点を置き、市内に進出する企業に対し初期投資費用の一部を補助します(基金を創設)。

新規 ホームページの拡充に307万円

*あなたの元気応援します！たんば・がんばる企業サポート事業

*商工業やる気満々サポート事業

中小企業経営改善資金融資制度

預託金 2億5,000万円

担当：新産業創造課 ☎ 74 - 1464



地域医療

産婦人科医院を開設しようとする開業医に対し、開設に必要な経費の一部を補助します(産科医療体制整備基金を設置・1億円/財源：市負担)。

*地域医療循環型人材育成プログラム 5,250万円

*柏原赤十字病院運営補助 7,000万円

*地域小児科医療確保対策事業 1,900万円

*医師研究資金貸付事業 2,000万円

*医療健康ダイヤル 140万円

担当：地域医療課 ☎ 82 - 4567

予算総額：3億6千万円

市負担：3億4,997万円



新規 重点分野雇用創造事業

政府の緊急経済対策。県の補助を受け、成長分野として期待される介護や環境、農林業などの分野の事業所に市が雇用機会をつくり、給料や資格取得の講習会にかかる費用などを負担。失業者や未就職者など求職者の生活の安定を図ります(5,700万円/市負担なし)。

新規 雇用維持安定支援事業

(中小企業者の人材力向上化計画サポート事業)

市商工会や各企業が実施しているパソコン講習や安全講習会などの費用、健康診断事業の実施に係る費用などの一部を補助します(2,200万円/市負担)。

担当：新産業創造課 ☎ 74 - 1464



新規 こども医療費助成事業

小学4年生から中学3年生までの入院にかかる医療保険の自己負担額を、県と市が負担し、全額助成します。

予算額：961万円(市負担：641万円)

担当：国保・医療課 ☎ 82 - 6690



新規 子ども手当支給事業

小学校修了前までの子どもを対象に支給していた児童手当に代わり、中学校修了前までの子どもを対象に一人あたり月額1万3千円の子ども手当を支給します。

予算額：11億8,524万円 市負担：1億3,358万円

担当：社会福祉課 ☎ 74 - 1130

新規 就農促進事業

新規 新たな農業の担い手となる概ね45歳以下の1ターン者などの新規就農者に空き家を貸した人に対し、月1万円の奨励金を交付します(予算204万円)。また、就農1年までの新規就農者に農業機械のリース料を補助します(予算68万円)。

担当：農林振興課 ☎ 74 - 1465

予算総額：939万円(市負担)



(仮称)丹波市クリーンセンターの整備

新しいごみ処理施設で一体的に処理を行うことにより、コスト削減を図り資源循環型社会の構築をめざします。

- *建設用地造成工事に4億5,000万円
- *市道野々間線の新設工事(第3期)に2,000万円
- *処理施設の整備に1億1,300万円



担当：環境整備課 ☎ 82 - 1292
予算総額：5億9,164万円
市負担：2,961万円/市の借金：5億1,560万円

■水道施設統合整備事業

水道ビジョンに基づき、山南上水道(山南地域)、中央上水道(柏原・氷上・青垣・春日地域)、市島上水道(市島地域)の水道施設の統合整備事業を進めます(総事業費：約119億円/平成26年度完了予定)。



担当：業務課・工務課 ☎ 72 - 0605
予算額：22億3,240万円
市の借金：一般会計/9億4,840万円
水道事業会計/9億4,840万円

その他の新規事業

- *一人親世帯がファミリーサポート事業を利用する際、協力会員に支払う活動報酬を半額扶助(16万円)
- *旧柏原町トレーニングセンターを改修し、「丹波市障害者地域活動支援センター(仮称)」を設置(3,150万円)
- *聴覚・言語障害者がメールで119番通報できるよう整備(27万円)
- *健康フォーラムの実施(14万円)
- *新学習指導要領により平成24年度から保健体育に武道(剣道)が加わるため、竹刀等備品を購入(1,142万円)
- *丹波市子ども読書活動推進計画策定のための委員報酬(32万円)
- *運転免許を自主返納された高齢者に1万円相当の商品券を贈る(125万円)
- *春日文化ホールでの舞台照明設備や機器を改修(8,323万円)

幼小中学校の耐震補強等の整備事業(繰越事業)

- *耐震補強工事：
黒井・久下・小川・中央小学校、船城幼稚園
- *耐震補強工事とあわせて大規模改造工事：
崇広小・市島中

担当課：教育施設課 ☎ 70 - 0813
予算総額：9億9,263万円
市負担：1億1,342万円
市の借金：3億1,200万円
(繰越明許費：8億9,574万円)



新規 新交通システムの導入

通院や買い物など生活に係る交通手段を確保するため、新たに「予約型乗合タクシー」制度を導入します。あわせて、路線バス会社に対しては、小型の低床バスを運行できるように支援を行い、公共交通の利便性を高めます。



担当：企画課 ☎ 82 - 0916
予算総額：1億4,952万円

■幼・保一元化事業

今年度青垣地域では、平成23年度の開園に向け、「認定こども園あおがき」の施設建設に着手します(4億4,107万円)。あわせて、子育て支援専門員や事務職員の配置、保育の質の向上をめざした運営費補助の増額、保護者の負担軽減のための通園バスの補助などを行います。

- *認定こども園運営費補助 5,125万円
- *事務職員配置補助 600万円
- *子育て支援専門員配置補助 800万円
- *通園バス運営補助 324万円

担当課：こども育成課 ☎ 70 - 0820
予算総額：5億1,549万円
市負担：7,995万円
市の借入金：2億8,190万円



新規 丹波市防災マップ作成事業(繰越事業)

県が21年度までに行なった土砂災害防止法に基づく基礎調査結果をもとに、土砂災害警戒区域や地震時の揺れやすさなどを示した「丹波市防災マップ」を作成し各家庭に配布します。

担当：生活安全課 ☎ 82-1532
予算額：1,394万円 市負担：744万円
(繰越明許費：600万円)

新規 「ありがとう運動」を実施

感謝や思いやりの言葉が、よりよい人間関係・社会をつくるものとして、「ありがとう運動」を推進します。

担当：社会教育課・中央公民館事務局 ☎ 82 - 0409
予算額：15万円(市負担)



完全移行まであと1年3か月！ テレビ難視聴地域解消事業

平成23年7月24日の地上デジタルテレビ放送への完全移行に向け、電波の届かない難視聴地域での共同受信施設のデジタル化改修工事に対し、補助金を交付します(3億8,948万円)。

担当：企画課 ☎ 82 - 0916
予算総額：3億9,168万円
市負担：1,726万円
市の借金：2億9,640万円



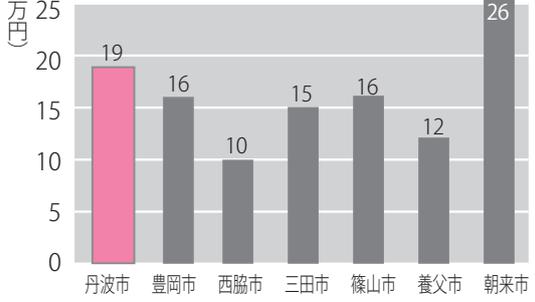
「市の財政状況が大変」って言うけど大丈夫？ みんな気になるお金のこと

Q 市の貯金（基金）は？
123 億円

解説 基金には、財政を健全に運営するために年度間の財源を調整する「財政調整基金」と将来の市債の償還（借金返済）に向け計画的に積み立てる「減債基金」、地域づくりや学校整備など特定の事業のために資金を積み立てる「特定目的基金」の3つがあります。

分析 合併後の3年間は、合併特例債（借金）で地域振興基金を40億円積み立てました。そのため、平成19年度まで基金総額は増加しましたが、平成20年度以降は各会計の財源調整や各種事業の実施で基金を取り崩すため、減少する見込みです。財政調整基金は年々減少しています。

基金残高（平成20年度普通会計決算額）を市民1人あたりに換算して他市と比較

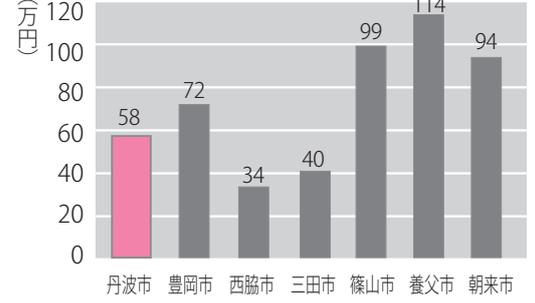


Q 市の借金（市債）は？
913 億円

解説 市債は、地方公共団体が財政上必要とする資金を、国や金融機関などから長期にわたって借り入れるお金です。

分析 平成22年度末見込みで一般（普通）会計413億円、特別会計と公営企業会計（水道事業会計）を含めると全会計の合計は913億円となり、平成16年度末から148億円減少しています。これは、合併後、繰上償還を毎年実施しているためです。後世への負担を少しでも軽減するため、繰上償還をしたり、地方債残高が増加しないよう発行額の抑制に努めたりする必要があります。

市債残高（平成20年度普通会計決算額）を市民1人あたりに換算して他市と比較



平成32年度には特例措置がなくなり30億円以上の減収に… これから先の市の財政、どうなるの？

今後の財政収支見通し

水道施設統合整備事業への繰出金の増加や、下水道事業への繰出金の負担継続、さらには学校施設整備や道路、農林施設等の基盤整備を計画する中、財政の健全性を維持するため、人件費では職員の定員適正化計画による減額を、また、地方債残高の縮減に向けては、新たな借入れの抑制と繰上償還の重点的な実施を見込んでいます。

投資的経費についても、各種事業計画をもとに算定してありますが、過去の実績と比較して大幅に減

額となっており、平均で年間約9億円（一般財源ベース）の事業費を見込んでいます。

なお、財政収支見通しの策定にあたり、平成21年度予算額などを基準とし、国の地方財政計画の水準が今後も維持されることを前提に算定しています。普通交付税は平成27年度から平成31年度までの5年間で段階的に減少し、平成32年度からは30億円以上の減収となります。

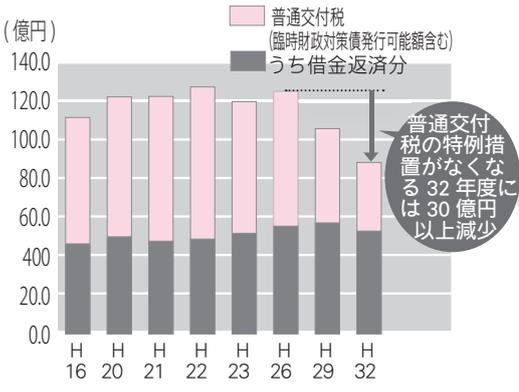
今後の財政運営の課題

人件費の削減や投資的経費の大幅な抑制を図っても、普通交付税の特例措置がなくなる平成32年度には、約10億円の収支不足となる見込みです。

収支見通しでは、基金残高も減少する見込みの中、収支不足額を基金繰入金で対応することにも限界があり、さらに、経済情勢の悪化により市税や譲与税などが減収となった場合には、収支は大幅に悪化することとなります。

収支見通しを指針として、絶えず軌道修正を加えながら、健全性の維持に努めていく必要があります。

普通交付税の推移と今後の見通し





少年自然の家の桜 とこいのぼり

満開の桜の中から青空へと飛び立っていくように、青垣にある丹波少年自然の家の桜の上を悠々と泳ぐこいのぼり。平成2年から毎年花見客や利用者を楽しませてきましたが、老朽化などの理由により今年最後の遊泳となり、たくさんの方が訪れました。



ドクターヘリの運行控え訓練を実施

兵庫・京都・鳥取の3府県で4月17日から共同運行するドクターヘリの事前訓練が、6日、市消防本部のヘリポートで交通事故で重傷者が出たとの想定で行われました。

要請から約20分で、基地となる公立豊岡病院からヘリが飛来。市消防本部の救急隊員らが訓練にあたり、搭乗してきた医師が救急車内で応急処置にあたった後、患者をヘリに運び込む手順などを確認しました。

熱き戦い…就職フェアに230人



4月10日、丹波市立柏原公民館において「就職フェア in たんば」が開催されました。約230人の地元就職希望者らが、企業スピーチや企業ブースでの面接に、熱心に臨んでいました。



ようこそ、かたくりの里へ

4月4日、氷上町清住でかたくりまつりが開催されました。好天にも恵まれ、里山の春の訪れを告げる薄紫色の可憐な花に来園者は心を和ませながら、思い思いにカメラのシャッターを切っていました。

保護者らが楽しい子育てのコツを教わっている間、子どもたちはボランティアの方々とキッズいわき・ぱふのおもちゃで楽しく遊びました。



可憐な花を咲かす
市花かたくり

「みんなで楽しい子育て」

3月20日、春日文化ホールで子育て講演会「みんなで楽しい子育て」を開催しました。(有)キッズいわき・ぱふ代表の岩城敏之さんから、「子育ては文化。親だけではなく、家族、地域みんなで子育てすることによって、子どもたちは次世代を担うためのよりいい子に育つ」と聴き、参加者らは家族・地域のきずなについて考えるよい機会となりました。



全国高等学校女子硬式野球の 全国大会を開催

3月27日から4月1日にかけて、スポーツピアいちじまで第11回全国高等学校女子硬式野球選抜大会が開催されました。蒲田女子高等学校(東京都)が埼玉栄高等学校(埼玉県)を7対5で破り、初の春夏連覇を果たしました。また、地元「丹波連合」は、惜しくも予選リーグで敗退しました。



【認定こども園開園状況】

- * 幼保連携型
認定こども園みつみ
認定こども園吉見こども園
- * 保育所型
認定こども園さちよ
認定こども園三尾の森おおじ



これからの保育のかたち 認定こども園が各地でスタート！

「おはよう！」ラムネの泡がはじける様に、子どもたちの元気いっぴいの声が園舎にこだましています。認定こども園は、保育園と幼稚園の機能をひとつにした、時代の流れや役割の変化にも対応できる施設で、子育て支援機能を充実させることにより、地域の子育て支援の拠点としても期待されます。

市では、0歳から5歳までの育ちの連続性に着目して分断されることのない幼児教育・保育をめざして認定こども園を推進しています。平成22年4月からは、新たに「認定こども園さちよ」「認定こども園みつみ」「認定こども園三尾の森おおじ」がスタートしました。



小川地区自治振興会(山南地域) 足利氏ゆかりの石龕寺もみじ祭



「足利氏ゆかりの石龕寺もみじ祭」は、1988年に、山南が誇る歴史とロマンに富んだ古刹で文化財も多い石龕寺を中心に、山南地域の村おこし事業として「ふるさと創生交付金」の運用益などを利用して行われるようになりました。

現在では、小川地区自治振興会が地域の一大イベントとして、実行委員会組織を編成し各種団体の協力のもと、毎年もみじの紅葉時期である11月の第3日曜日に実施しています。

室町時代に京の都から逃れた足利尊氏・義詮父子が2,000騎の兵と足軽を引き連れ石龕寺に一時逗留したと、太平記29巻に記載されており、それにちなんで足利父子が騎馬姿で、侍大将・少年武者・物詣と続き武者行列します。また、岩屋地区内からは石龕寺周辺の山中で修業したと伝えられる修験者が加わり先導していきます。昨年、この行列で使用する足利父子の鎧・兜2領を地域の人の協力により制作しました。

地域住民が一体となって取り組む行事を通して、地域コミュニティの強化を図ることで、災害時などいざという時に助け合える地域をめざしています。

は じ め ま し て

市民のみなさん、よろしくお願いします。

水道



水道の検針や開閉栓など
市の水道業務を
民間委託します

市水道部では、より良いサービスをめざして、4月から水道メーターの検針業務と開閉栓業務を「フジ地中情報株式会社大阪支店」に委託します。4月以降は、同社の制服を着用し、作業時には水道部発行の身分証明書を携帯した同社社員が担当しますので、必要に応じて提示を求めてください。

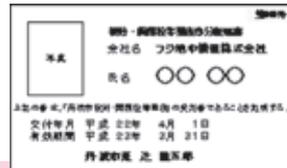
■営業時間／（平日のみ）午前8時30分～午後5時30分
■事務所／水道部庁舎1階（相原支所内）

☎ 水道部業務課 72-0600



検針・調査員（女性）
[業務内容]
検針、調査

検針・調査員（男性）
[業務内容]
検針、調査・開栓、閉栓



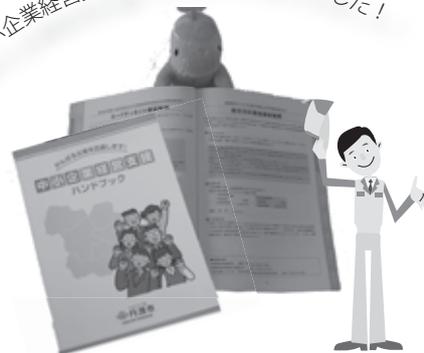
がんばる企業を応援します！

「中小企業経営支援ハンドブック」が完成!! 手元に置きたい一冊です

市や県、国などが実施している中小企業者向けの融資、信用保証、補助金、設備投資支援、雇用支援、共済および経営相談など、中小企業者のための支援情報をまとめた「中小企業経営支援ハンドブック」が完成しました。ご希望の方は、新産業創造課、市役所地域振興課、各支所、商工会本所・各支所まで。

☎ 新産業創造課（春日庁舎内） 74-1464

中小企業経営支援ハンドブックができました!



納税

平成22年度の市税の納期（予定）

納期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
市県民税 (普通徴収)			1期 6/30		2期 8/31		3期 11/1			4期 1/31		
固定資産税		1期 5/31		2期 8/2					3期 12/27		4期 2/28	
国民健康保険税			1期 6/30	2期 8/2	3期 8/31	4期 9/30	5期 11/1	6期 11/30	7期 1/4	8期 1/31	9期 2/28	10期 3/31
軽自動車税		一括 5/31										

*納期限は、各月の末日です。ただし、月末が土・日・祝日の場合は、翌開庁日になります。
なお、固定資産税の第3期（12月）は、27日が納期限です。みなさんのご協力をお願いします。
☎ 税務課 82-1001（代）



自動車税の納期限は5月31日（月）です

☎ 丹波県民局丹波県税事務所 72-0500

あなたの「声」を聞かせてください…各種委員を募集します

【1】～【3】共通事項

■委員報酬／条例に基づき、報酬として日額／7千円（平日／3千5百円）、費用の弁償として旅費が支給されます。

■応募方法／市役所・各支所窓口を設置している応募用紙に必要事項を記入の上、各テーマの作文（800字以内）を添えて担当課まで提出してください。（応募用紙は市のホームページからもダウンロードできます。）



1 「第2次丹波市行政改革大綱策定委員会」委員を募集します！

市では、厳しい財政状況を踏まえて、合併による地方交付税の特例措置がなくなる将来の行財政構造に対応するため、行財政改革に取り組んでいます。今年度は、その指針となる新たな「第2次丹波市行政改革大綱」を策定します。そこで、大綱策定に向けた「丹波市行政改革大綱策定委員会」の委員を募集します。

- 募集人数／6人以内
 - 会議開催／5月～12月に6回程度予定
 - 応募資格／丹波市の行政施策に関心がある方で、市内在住在勤の満18歳以上（高校生を除く）の方および丹波市との関わりが深い方
 - 応募作文のテーマ／「丹波市の行政改革の推進のために重要なと思うこと」
 - ※「応募理由」も添えて郵送または電子メールでご応募ください。
 - 申込締切／5月11日（火）必着
- ☎ 企画行革推進課 ☎ 82・1001（内線272）

2 「丹波市環境審議会」委員を募集します！

「丹波の森と農を活かし、人と自然が共生するまち」の実現のため、あなたの声を聴かせてください。「丹波市環境審議会」は、市民が健全で恵み豊かな環境の保全と潤いのある環境づくりを進めていくための基本的事項を審議する機関です。この審議会に、年2～3回程度出席しご意見ご提案をいただける方を募集します。

- 募集人数／2人以内
 - 応募資格／18歳以上（高校生は除く）で市内に住民登録（外国人登録含む）があり、環境を基調とするまちづくりに関心のある方。
 - 任期／7月1日～平成24年6月30日
 - 応募作文のテーマ／「丹波市の環境を活かした農林業、環境観光（エコツアー）、環境学習へのアイデア」
 - 申込締切／5月20日（木）必着
- ☎ 環境政策課 ☎ 82・1290

3 「丹波市新エネルギー推進協議会」委員を募集します！

新エネルギー導入による「丹波版グリーン・ニューデール」の実現をめざして、あなたの声を聴かせてください。市では、地域の特性を生かした新エネルギーの導入により、環境問題に地域が貢献するとともに、地域振興や環境に対する市民の意識向上を図るため、「丹波市地域新エネルギービジョン」を策定しました。さらに、細かな計画の策定や、新・省エネルギーの推進、普及啓発など積極的な取り組みを推進するにあたり、「丹波市新エネルギー推進協議会」に年4～5回程度出席し、ご意見をいただける方を募集します。

- 募集人数／2人以内
 - 応募資格／18歳以上（高校生は除く）で市内に住民登録（外国人登録含む）があり、新エネルギー推進などに関心のある方
 - 任期／6月中旬～平成24年3月31日
 - 応募作文のテーマ／「丹波市の推進すべき新エネルギーと協議会で果たしたい自分の役割」
 - 申込締切／5月20日（木）必着
- ☎ 環境政策課 ☎ 82・1290





お正月遊びのしかったよ

ウォッチング 子育て

氷上子育て学習センター

☎ 社会教育課・中央公民館事務局
☎ 82 - 0409

親子で友だちたくさんできたよ

「子どもが7か月のころからサークルに参加して、初めは知り合いがいなくて緊張しました。2才になった今ではたくさんの友だちができ、親子ともに子育て学習センターに行くのがとても楽しくなりました。小さいころから一緒に遊んでいる子どもたちが成長していく姿は、まるで自分の子どものことのようにうれしく思います。うちの子も友だちのお母さんにほめられると、少し照れながらもとてもうれしそうなお顔でご機嫌になります。子どもは親だけでなく、周りの人みんなに育てられているんだなと思います。私もたくさんのママ友ができ、子育てを楽しむことができました」(平成21年度子育て文集より)

いつも明るい笑顔のお母さんも、最初、親子がたくさん集まるサークルへの参加は不安でいっぱいでした。4月のころは、みんながそんな思いを感じながら参加されているのでしょうか。子どもの成長もマニュアルどおりにいかなくて、子育てすべてが不安だらけ、ちょっとしたことに悩むことばかり。そんな時、サークルでいろいろな話しをして情報交換

をすることにより、「私もそれ経験あるわ!」「うち是这样だよ」といろいろなアドバイスをもらい、改めて子どもとのふれあいやかわりについて気づくことがたくさんあります。また、みんな同じように悩んでいるんだということが分かり気持ち楽になります。サークル活動に参加して、親子ともにたくさんの友だちをつくりママ友の輪をひろげます。たわいのない話が情報交換となり、みんなの知恵を共有してともに育ち合い、つながりあって、みんな楽しく子育てをしていきたいと思えます。

子育て学習センターは、子育てを通じて人とのつながりを大事にし、親と親のつながりからひろがり、みんなで支えあい、楽しく子育てができる地域をめざし、子育てママたちへの応援バトンがつながるように活動を支援していきます。



キルトシアターのしかったね グループ活動!昔あそび(皿回し)

☎ 市体育協会事務局 (社会教育課・中央公民館事務局 内) ☎ 82 - 0409

丹波市体育協会だより 丹波市サッカー協会

サッカーを楽しみませんか!



私たちの協会は、丹波市サッカー協会の傘下で、小学生から大人までの活動を支援しています。今年ワールドカップが「岡田JAPAN」も参加して開催される年です。丹波市でもサッカーの機運が盛り上がってほしいところですが、少子化の影響が、少年少女のサッカー熱が高まりを見せないのが残念なところです。

そこで協会として幼年期の子どもたち対象のキッズフェスティバルを開催しました。ボールを蹴りながら、心と体の健全育成を図り、サッカーを共にする仲間を大切にしてほしいと願っているところです。

みなさんの身近な地域に少年少女のサッカークラブがありますから、気軽に参加してください。

BOOKS

みんなで図書館に出かけよう



図書館事務局 ☎ 82 - 7100

おすすめ図書

***一般書「逆境を生きる」**
城山三郎 / 著 新潮社 (2010.2)

視界ゼロ時代には、魅力ある人間だけが生き残る。いかなる苦境にあっても初心を失うことなく、自らの信念を貫いた男たちの生き様を通して、人間の「真の魅力」とは何かを問いつける講演録。

城山三郎
生きる
逆境を

***児童書「ちいさいうち」**



ばーじにあ・リー・ばーとん / ぶん・えい
いしいももこ / やく 岩波書店 (1965)
静かないなかに、ちいさいうちがたっていました。まわりに工場がたち、電車が通って、にぎやかな町になると、四季の移り変わりがある田舎の景色をなつかしく思うようになり、さびしくなるのでした。(絵本 4歳くらいから)

ベストリーダー情報 (3月末現在)

[一般書]			[児童書]		
順位	本の名前	作者	順位	本の名前	作者
1	1Q84	村上春樹	1	かいじゅうたちのいるところ	モリス・センダック
2	まねき通り十二景	山本一力	2	バムとケロのおかいもの	島田ゆか
3	私のこと、好きだった?	林真理子	3	ちいさなねこ	石井桃子
4	流星の絆	東野圭吾	4	ざっくん! ショベルカー	竹下文子
5	新参者	東野圭吾	4	バムとケロのさむいあさ	島田ゆか

予約ランキングベスト5 (3月末現在)

[一般書]			[児童書]		
順位	本の名前	作者	順位	本の名前	作者
1	カッコウの卵は誰のもの	東野圭吾	1	獣の奏者	上橋菜穂子
2	更衣の鷹	佐伯泰英	2	きょうりゅう-ひきまぐさい	竹下文子
3	1Q84	村上春樹	2	ちゅーちゅー	宮西達也
4	新参者	東野圭吾	3	パーシー・ジャクソンとオリンピスの神々	リック・リオータン
5	Nのために	湊かなえ	3	おふる	出久根育

5月	日	月	火	水	木	金	土
						1	
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30	31					

×印は図書館休館日



*対象
幼=幼稚園 小=小学生
低=低学年 中=中学年

子育てひろば

- ♪ 柏原子育て学習センター ☎ 72 - 4747
8 (土) おひさまのおはなし会 10:30
18 (火) ~ 21 (金)
さつまいもの苗植え 10:30 下小倉の畑
- ♪ 氷上子育て学習センター ☎ 82 - 1001
13 (木) こどもの日あそび 10:00
20 (木) 野菜苗を植えましょう 10:00
27 (木) ほっとサロン 10:00
- ♪ 青垣子育て学習センター ☎ 87 - 1919
11 (火) ベビーサロン 10:00
13 (木) キッズサロン 10:00
19 (水) こいのぼりと遊ぼう 10:00
- ♪ 春日子育て学習センター ☎ 74 - 3040
12 (水) 子育て相談会 13:00
21 (金) 子育てふれあい広場春の野外活動 (遠足) 9:40 福知山三段池公園
27 (木) ひまわりサロン 10:00
- ♪ 山南子育て学習センター ☎ 77 - 3160
13 (木) ひよこクラス 10:00 山南住民センター集会室
19 (水) 親子ふれあい教室 9:45 消防署 & 丹波年輪の里
※会場表示がないものは子育て学習センターで開催。

おはなし会

- ♪ 中央 ☎ 82 - 7100
8日 (土) 10:30 幼児
11日 (火) 10:30 幼児
15日 (土) 11:00 小
22日 (土) 10:30 幼児
 - ♪ 青垣 ☎ 87 - 1111
8日 (土) 11:00 幼児~小低
♪ 山南 ☎ 77 - 0310
8日 (土) 10:30 幼児~中
21日 (金) 10:30 幼児~中
22日 (土) 10:30 幼児~中
 - ♪ 市島 ☎ 85 - 3030
8日 (土) 10:30 幼児
15日 (土) 10:30 幼児~小低
22日 (土) 10:30 小
♪ 柏原 ☎ 72 - 2552
15日 (土) 11:00 幼児
♪ 春日 ☎ 74 - 0225
15日 (土) 10:30 幼児~小低
- *会場 各図書館

児童館

- ♪ 小うがやま児童館 ☎ 82 - 8620
1日 (土) 音楽であそぼう 9:30 小
8日 (土) 絵画教室 9:30 小
12日 (水) トトロくらぶ 10:00 乳幼児
18日 (火) おはなしかい 10:00 乳幼児
27日 (木) リズムでえいご 10:00 乳幼児
- ♪ しろやま児童館 ☎ 82 - 0843
1日 (土) 英語であそぼう 9:00 小
10日 (月) およこあそび 10:00 乳幼児
14日 (金) こころのSOS 10:00 乳幼児
15日 (土) 作ってあおぼう 9:30 小
- ♪ 県立丹波年輪の里 ☎ 73 - 0725
19日 (水) 出前児童館 10:00 乳幼児



シリーズ
ふるさとを貫く⑬

花嫁に石 — 江戸時代の棚原村の史料から —

神戸大学大学院人文科学研究科学生
研究支援員 前田結城

江戸時代の棚原村（現・春日町棚原）におけるさまざまな規約をまとめた史料として、「古文書 巻一・二」というものがあります。巻物の形でまとめられたのは大正期（1912～1926年）に入ってからですが、そこには江戸時代の史料がそのまま貼り付けられています（簡条書の形式。写真下参照）。ただし、それが作成

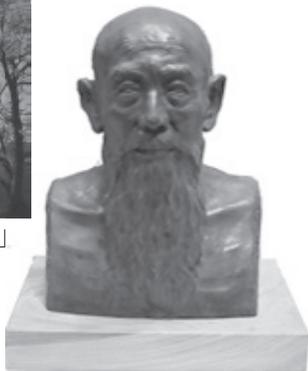
第3回丹波市民美術展
入賞者

第3回丹波市民美術展に市内から122点の応募をいただきました。公開審査会で20人の入賞者と65人の入選者が決定し、3月14日（日）春日公民館で表彰式、春日文化ホールで審査員による講評を行いました。入賞者のみなさんは次のとおりです（敬称略）。

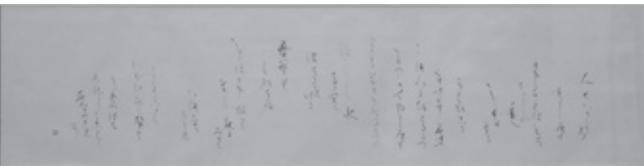
■市民美術展賞



〔写真〕久下恵太「春はあけぼの。」



〔彫刻〕下方 武
「父（時空四十余年）」



〔書〕大槻美紀子「人はいさ」



〔工芸〕山口匡弘「彩砂釉裂花器」



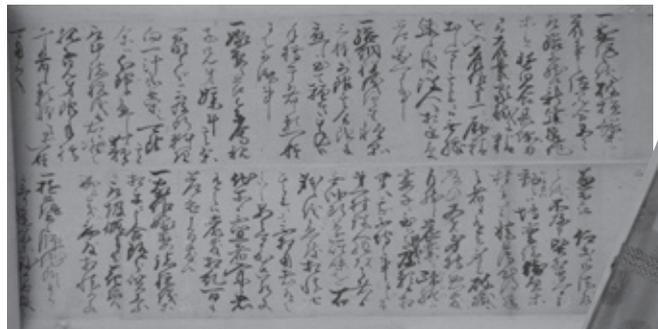
〔絵画〕井徳千恵子「白日」

■奨励賞

〔絵画〕田村英夫「『的屋』物語」/ 酒井義己「生きる」/ 大木 豊「廃屋」/ 西山泰代「蔵の中の静物」/ 三ツ井美代子「夏野菜」〔工芸〕鳥山高史「花器—Texture」/ 石原康次郎「リュック旅立」〔写真〕岡林弘司「塔斜」/ 永井郁夫「村まつりの主役たち」/ 和田雅美「紅朝」/ 野村カヨ子「なごみの灯り」〔書〕足立頼昌「頼山陽の詩」/ 赤松孝夫「杜甫詩「春望」」/ 荻野華代「若の浦に」〔彫刻〕常石孝子「祝 還暦」

された正確な年代は今のところわかりません。「巻一」からは、江戸時代の棚原村に次のような規約があったことが読み取れます。例えば、家の新造は農作業に支障をきたすので控えること、結納・祝儀は分限をわきまえて、手樽や干し魚のような「軽き品」で済ますこと、といったものです。これらのうち興味深いのは、「嫁娶りの節」石など打し候儀これ有る由、甚だ不行儀であるからやめなさい、とある簡条です。村外からの嫁入りの婚礼時に石を投げる風習があったのを、「不行儀」として禁止したものと推測されます。婚礼時の石打ち（石を投げる）の風習は丹波に限らず広く行われていました。村外から嫁・婿を迎える際、主に若者

組（村の青年男子からなる年齢集団）がそれを行ったようですが、その行為の意味については呪術的祝儀行事であるとか、若者組の持つ強い共同体意識ゆえの妨害行為など、さまざまな説があるようです。棚原村における意味については、今のところ明確にはわかりません。この婚姻形態に関する通説は、婿入婚・村内婚が本来一般的であったのが江戸期において、嫁入婚・村外婚が増大してくる、というものです。棚原村ではこのころ嫁入婚・村外婚がだいぶ当たり前のことになっていたのでないか、それゆえ「嫁娶りの節」における石打ちの風習を「不行儀」とする見方が強まっていたのではないか、とも思えます。ただ、これはあくまで推測に過ぎません。



〔古文書 巻一・二〕